【西部公民館（第3回）】路線バス利用者説明会 会議録

1 日 時	令和7年4月13日（日曜日） 10:00～11:00
2 会 場	西部公民館 大ホール
3 出 席 者	●千曲バス株式会社 伊藤所長 ○上田市 佐藤都市建設部長、横沢課長、坂口補佐、木角
4 参 加 者	4名
5 会議概要作成年月日	令和7年5月19日

協 議 事 項 等

1 開 会（上田市 交通政策課 横沢課長）
2 あいさつ（上田市 都市建設部 佐藤部長）
3 地域公共交通利便増進事業について（上田市 交通政策課 坂口補佐）
4 交通事業者の現状について（千曲バス株式会社 伊藤所長）
5 質疑応答
<p>●参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柵津線について、上田駅から秋和車庫に向かう際、「花園」停留所を通過するが、停車しないのか。 <p>⇒○千曲バス株式会社 伊藤所長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状停車していない。 ・ 経緯としては、本路線は再編されたばかりであり、「花園」停留所の上りには停車せず、下りにのみ停車する取扱いとした場合、利用者に混乱をきたす可能性があった。 ・ 今後、関係各所と協議をし、「花園」停留所の扱いについて検討したい。 <p>●参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用車について、今まで1人1台というのがスタンダードだったと思うが、物価高の影響などによって、1家に1台に回帰しつつあると感じている。 ・ そうなった際に公共交通は非常に重要な移動手段となるため、苦しい中ではあると思うが、是非残して欲しい。 <p>⇒○上田市 交通政策課 横沢課長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事業者と協力し、引き続き公共交通の維持、確保を図っていきたい。 <p>●参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 別所線について、便数を56本から78本に増便することだが、5年後この便数をさらに増やす、維持するという判断はどのように行うのか。 <p>⇒○上田市 交通政策課 横沢課長</p>

- ・別所線の令和5年度の輸送人員は約104万人であり、増便によって5年間で5万人の利用者増加を目指している。達成した場合は5年後も引き続き増便した便数での運行を行っていく。
- ・達成できなかった場合は見直しが必要になるかと思う。

●参加者

- ・ゾーン制運賃についてそれぞれの地域拠点との兼ね合いを説明していただきたい。
- ・あくまでも市街地が中心となっているが、真田、丸子、武石との考え方を教えていただきたい。

⇒○上田市 交通政策課 坂口補佐

- ・現行の運賃低減バスにおいて、真田地域自治センター、丸子地域自治センター、青木バスターミナル等の地域拠点は300円の運賃設定となっている。
- ・ゾーン制運賃では距離に応じて運賃を収受したいと考えているため、真田地域自治センターは500円、丸子地域自治センターは600円、青木バスターミナルは600円、武石地域自治センター付近は800円という設定で考えている。
- ・距離だけでなく、同一生活圏も考えながら運賃を設定した。

⇒●参加者

- ・それぞれのゾーンの中での移動と、市街地に向けての移動について、どれくらいの利用者増加を見込んでいるか。

⇒○上田市 交通政策課 坂口補佐

- ・市街地では100円で3~4キロ移動することができるため、利用が増加するのではないかと見込んでいる。
- ・その周辺の地域については運賃が上がる箇所もあるため、多少利用が減少するのではないかと考えている。
- ・その分は運賃の値上げ分でカバーしていきたい。
- ・高校生については定期代を据え置くことによって、なんとか利用促進を図りたいと考えている。
- ・また、菅平高原線については県外の利用者が多いため、そういった観光客からはしっかり運賃をいただきたいという思いもあり運賃を設定している。

⇒●参加者

- ・承知した。
- ・運転手確保について、移住政策との関係で何か検討しているのか。

⇒○上田市 交通政策課 坂口補佐

- ・本年2月に東京でバス運転手希望者向け移住セミナーを実施したが、4名のみの参加であった。
- ・初めから移住と運転手を組み合わせて募集を行うより、裾野を広げて移住政策と連携していきたい。
- ・また、県も移住に力を入れているため、連携を図っていきたい。

⇒●参加者

- ・移住者への手厚い補助を行って成功している地域もあると伺った。

⇒○上田市 交通政策課 坂口補佐

- ・移住セミナーの参加者は真剣に移住を検討していたが、賃金面から断念された方もいた。
- ・都会との賃金差を埋めていくことも重要であるため、そのあたりも留意しつつ説明を行っていただければと思う。